

1 学校教育目標

- やさしい子
- がんばる子
- げんきな子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

| | |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○学校像 | ○児童の生命の安全、人権が守られ、生き生きとした教育活動が実現される学校 ○あらゆる機会をとらえ、児童を心身ともに正しく鍛えることができる学校 ○保護者・地域が安心して子どもを通わせることができる学校 |
| ○児童・生徒像 | ○自他の生命・人権を尊重し、思いやりの心、豊かな感性をもつ児童 ○落ち着いて、常に向上心を持ち、学習・学校行事に取り組み、学ぶ喜びを知る児童 ○大きな声で「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える児童 |
| ○教師像 | ○全ての教育活動が、教育目標の達成に向けて行われるべきであることを常に意識する教師 ○不断の自己研鑽・自己啓発に励み、自らの資質・能力および人格の向上に努める教師 ○児童に豊かな愛情を注ぎ、児童を心から誉め、真剣に叱ることのできる教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

○児童について

- ・明るく素直、元気良く挨拶できる児童が多い。係や当番、委員会の活動に熱心に取り組む児童が多い。
- ・話の聞き方が上手な児童、時間を守ることができる児童、友達や下級生に優しく接する児童が多い。
- ・基礎学力の定着に課題のある児童がいる。
- ・自分の能力に自信がもてない児童が多い。様々な体験を通して自信をもたせることが求められる。

○教師について

- ・学級担任の半数以上が現任校が初任で、若く活力がある。ベテランも含めて教師の人間関係が良好である。
- ・校長や副校長、主幹教諭の指導を素直に受け入れる教師が多い。
- ・経験が浅いため、指導力にやや課題があり、自信がもてない教師がいる。
- ・協調性には優れるが、主体性・積極性に課題のある教師がいる。

○保護者・地域について

- ・学校の方針・教育活動に理解を示し、学校に協力的な保護者・地域の方が多い。
- ・学区に農家や高齢者施設があり、体験学習や福祉学習に大きく寄与してくれている。
- ・開かれた学校づくり協議会の土曜事業部による和太鼓クラブの指導・太鼓運搬等、委員が協力的である。

[前年度の成果と課題]

○基礎基本の定着

- ・「授業力の向上」を校内研究のテーマとし、年間6回の研究授業を実施。算数少人数指導を充実させ、区学力調査において到達度75%の児童の比率が国語・算数ともに約5ポイント向上した。今年度も「授業力の向上」を研究テーマに研究授業を年間7回に増やして実施。基礎基本のさらなる定着及び学習意欲の向上が課題である。

○心の教育の充実

- ・挨拶がきちんとできる児童が多く、来校者からも高い評価を得ている。今年度も日常的指導を継続する。また、体験活動をさらに充実させ、豊かな感性を育むことを課題とする。

4 重点的な取組事項

| 番号 | 内容 | 実施期間 | | | | |
|----|---------------|------|----|----|----|----|
| | | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 1 | 基礎学力の定着 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 2 | 自己肯定感と豊かな心の育成 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 健康の保持・増進 | ○ | ○ | ○ | ○ | |

5 平成23年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 基礎学力の定着 | |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|--|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | |
| ◎足立区の学力調査において到達度を向上させる。 | | ・国語・算数ともに、到達度70%の児童を75%以上、到達度50%未満の児童を50%以下にする。 | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | |
| ○教師の授業力向上 | ・児童が「わかった」と実感できる授業の実現 | ・週案・授業観察等にて確認・指導 ・単元テストで到達度70%以上が7割 | |
| ○校内研究の充実 | ・事前授業を含め年間13回の研究授業を実施 ・授業と学級経営の充実 | ・研究主任を中心に、指導案の作成段階から組織的に研究に取り組む体制の整備。 ・事前・事後を含め全員公開授業の実施 | |
| ○算数少人数のさらなる充実 | ・中・高学年の算数において毎時間少人数指導を実施。 ・単元毎に個人カルテを点数化しフィードバック個別指導。 | ・少人数指導担当教師を中心とし、観点別に個々の児童の得点及び特質を記録し、授業の改善を図る。 ・単元ごとにフィードバック&個別指導。 | |
| 重点的な取組事項－2 | | 自己肯定感と豊かな心の育成 | |
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | |
| ◎自他ともに尊重し合う行動様式を身に付ける。 | | ・アンケート調査で8割の児童が達成 | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | |
| ○自己肯定感の育成 | ・自己肯定感に関するアンケートで8割以上が8割 | ・児童朝会時を活用した講話と学級指導(毎月2回以上を自己肯定感または豊かな心) ・学年・学級指導でのがんばりを認め合う活動場面の設定と自己評価アンケート | |
| ○思いやりの心を育てる | ・「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える。 ・話をきちんと聞ける。 ・気づき・考え・行動できる。 | ・日常的に全職員で指導する。 ・農業体験活動を通して自然を大切にすることを培い、高齢者施設や保育園との交流を通して弱者に対する優しさを育む。 | |
| ○豊かな心をはぐくむ読書活動の充実 | 年間を通して ・低学年は100冊以上 ・中・高学年は30冊以上 (概ね3000ページ以上) | ・読書タイムの設定と、担任や図書ボランティアによる読み語りの実施 ・校内読書週間の設定と年間累積記録カードの活用と目標達成者の表彰。 | |
| 重点的な取組事項－3 | | 健康の保持・増進 | |
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | |
| ○規則正しい生活習慣を身に付け、進んで運動し体力の向上を図る。 | | ・各項目、個人目標の達成者7割以上 | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | |
| ○基本的な生活習慣の確立 | ・10時迄に就寝70%以上 ・7時迄に起床80%以上 ・朝食の摂取率90%以上 | ・生活調査の実施(5・9・1月) ・家庭との協働(啓発・講演会等) | |
| ○年間を通じた体力づくり | ・前年度の自己記録を更新 | ・スポーツテスト、水泳、なわとび、持久走等の前年度自己記録を更新 | |
| ○保健衛生指導と食育指導の推進 | ・保健衛生全校指導年3回以上 ・全学級年2回以上の担任と栄養士による食育指導 | ・手洗い・うがいの励行 ・担任と養護教諭・栄養士との連携 | |